

学校運営協議会(定時制部会)議事録

校名	大阪府立成城高等学校
准校長名	大川 賢司

開催日時	令和5年2月2日(木) 18:00 ~ 19:30
開催場所	府立成城高校 南館多目的会議室
出席者(委員)	木村 雅則会長 渡辺 一雄委員 桶谷 千晶委員 村田 晃浩委員
出席者(学校)	大川 賢司准校長 朝川 裕之教頭(事務局長) 川内 太首席 谷口 純一事務主査 大塚 勇希教務部長
傍聴者	0名
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度学校経営計画及び学校評価 ・令和5年度学校経営計画(案) ・令和4年度第2回授業アンケート(12月 後期)結果 ・令和4年度学校教育自己診断 ・スクールポリシーについて
備考	石川 文子副会長、清水 幸栄委員は欠席

議題等(次第順)

1. 准校長挨拶
2. 会長挨拶
3. 協議
 - ①令和4年度学校経営計画・評価について
 - ②令和5年度学校経営計画(案)について
 - ③令和5年度第2回授業アンケートについて
 - ④学校教育自己診断について
 - ⑤スクールポリシーについて
4. 報告
 - ・生徒の進路状況
5. その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ・協議① 令和4年度学校経営計画・評価について⇒**全会一致で承認**
【委員より】
 - ・授業アンケート肯定率の自己評価が△となっているが、定時制の課程では分母となる値が小さいため、少しの数字の変化で肯定率が大きく変わる。生徒の大半は昨年度と同様に肯定感をもっていると考えて良いのではないか。
 - ・第2回学校運営協議会の際の、文化祭見学でも見たとおり生徒と先生方の距離感が本当に適切だと思う。
 - ・「成城虎の巻」の具体的効果はどのようなものか。
首席:それぞれの教員の人生や趣味など、多岐にわたる内容について先生方が自由に話したことで、教員相互の理解促進に大きく貢献している。
 - 委員:「成城虎の巻」による相互間の理解促進が、ストレスチェックの値にも出ているのではないか。自己評価は△だが、数値は非常によい値だと思う。よい形でチーム感が出ているのではないか。
- ・協議② 令和5年度学校経営計画(案)について⇒**全会一致で承認**
【委員より】
 - ・自分も、今年度より勤められている先生向けへの研修を実施させてもらった。他校ではない経験だったため、よい経験となった。また、内容等についても全般的に、先生方が異動された後も生きていく研修だと思う。ぜひ来年度も継続してもらいたい。
 - ・三者懇談が実施できる生徒の割合はどの程度か。
教頭:8割程度が校内で実施。どうしてもできない場合は、家庭訪問又は電話等の活用で実施している。
 - ・端末を活用した同時双方向通信、委員を積極的に活用した研修の企画など、できることをもっともっとチャレンジの姿勢で挑戦してもらいたい。
- ・協議③ 令和5年度第2回授業アンケート結果について⇒特に意見なし。
- ・協議④ 学校教育自己診断について⇒特に意見なし。
- ・協議⑤ スクールポリシーについて⇒**全会一致で承認**
【委員より】
 - ・令和の日本型教育に関する文言なども採用されており、よいと思う。

次回の会議日程

日時	令和5年6月23日(金) 18:00~
会場	成城高校 多目的教室